

整形外科

目標と特徴

将来整形外科を標榜する医師のためのプログラムであり、将来、日本整形外科学会認定医の受験資格を得ることができる。

教育課程

(1) 12週で、脊椎及び四肢の外傷、脊椎外科、関節外科、手の外科について研修する。
研修内容は、基本的診断、検査手技、新鮮外傷の診療法、基本的手術手技の修得とする。

(2) 週間予定（カンファレンス・手術・検査等）

① カンファレンス

モーニングカンファレンス	毎日	8:30～	9:00
抄読会	月曜日	17:30～	19:00
整形外科懇話会	最終水曜日	19:00～	21:00

② 検査など

脊髄造影：毎週水曜日の午後

関節造影：＃

筋電図、神経伝達速度検査：検査部に依頼

③ 特殊外来

リウマチ外来（月、水）

脊椎外来（第1木、第3木）

小児外来（金）

リハ外来（月、水）

(3) 研修内容と到達目標

整形外科、整形外科基礎コース

総論

☆解剖及び生理の理解

☆消毒法の理解及び実施

解放創及び術野のブラッシングと消毒

検査

☆全身状態の評価

○各種機能検査の総合判断

○レントゲン検査法

・ストレス撮影法

・アライメント撮影法

・脊髄造影法

・関節造影法

○筋電図検査、神経伝達速度測定法

☆術前評価

○高齢者

○緊急症例

○ハイリスク症例

診断法

☆外傷症例の全身及び局所状態の診断法

- 全身的所見の把握法
- 局所的所見の把握法

外傷（骨折、脱臼、捻挫、挫創等）の局所的所見の見方を習熟する。特に血管神経挫創の有無について繰り返し指導する。

☆整形外科疾患の局所状態の診断法

治療

☆全身管理

- 循環管理
- 呼吸管理
- 静脈ラインの確保及び輸液管理
- 栄養管理（食事療法、高カロリー輸液）

☆手術

- 基本的手術手技の修得
皮切手技とその部位、結紮法、手術器具及び器械の理解と操作の習熟
- 手術チームの中での役割分担の理解
- 骨折及び脱臼の徒手整復法
手、指・小手術、指針術
- 気管切開術

☆術後管理（上記前新管理の他に）

- 感染対策
- 疼痛対策
- 精神的管理
- 気管切開術及び各種ドレーンの管理

☆外来小手術

- 挫創、骨折、脱臼、指針など

評価方法

自己評価、指導医評価を3段階で行う。